



屋島合戦図屏風 右隻 部分 江戸時代
語り継がれる武勲の場面



Kasugataisha Museum, Winter Special Exhibition
— Handed Down at Kasugataisha Shrine —

Soul of the Samurai; Bows, Horses, and Swords

令和6年
12月21日(土) ~ 3月30日(日)
令和7年
※令和7年2月10日(月)は前後期展示替えのため休館
開館時間 10時 ~ 17時 (16時30分受付終了)

侍の魂

きゆうば
弓馬と刀剣

春日大社に伝わる

さむらい



撰閑家 九条道孝奉納
なみしゃ かごまき えくら あぶみ
波蛇籠蒔絵鞍、鎧 江戸時代



足利將軍家奉納 国宝 金装花押散兵庫鎖太刀 南北朝時代

春日大社 国宝殿

Kasugataisha Museum

拝観料

大人 ¥500 (20名以上400円)
高校・大学生 ¥300
中学生・小学生 ¥200

アクセス

JR・近鉄奈良駅より
春日大社本殿行きバス7~10分、下車スグ
〒630-8212 奈良市春日野町160
Tel. 0742-22-7788 / Fax. 0742-27-2114

春日大社にさむらい侍の魂きゅうば弓馬と刀剣

日本では合戦かっせんの場面は、馬に跨またがる大将またが同士の名乗りや弓矢おうしゅうの応酬から、時代と共に歩兵あつによる集団戦が中心となっていきます。春日大社には国譲りの武神としても古くから篤い信仰が寄せられました。武家政権となる鎌倉時代からサムライ達が祈りを込めて、御神前に捧げた、刀剣類や弓具・馬具などを、使われている様子を描いた絵巻などと共に展示します。

第一章 侍の魂 I 弓馬の道

侍の心構えを示す言葉は「弓馬の道」です。馬を操りながら矢を自在に射ることが出来なければならなかったからです。本章では屋島やしまにおける那須与一なすのよいちの活躍を描く屏風や日本最古の流鏑馬像やぶさめ、そして豪華な蒔絵の鞍などを展示します。



春日本 春日権現験記
第2巻 江戸時代

重要美術品 流鏑馬木像
平安時代

第二章 侍の魂 II 弓矢の歴史

侍の戦いは先ず弓矢の技より始まりました。本章では古神宝の平安の弓矢を始め近世の弓までを展示。箆えびらや矢筒など矢の容器の様々も展示します。注目は、関白豊臣秀次とよとみひでつぐから拝領したという雪荷村せつかそんの名弓です。



赤漆黒漆段弓 銘 雪荷村 桃山時代

第三章 侍の魂 III 捧げられた刀剣

武士の魂を象徴するのが刀剣です。武士は最高の刀を神々に捧げました。本章では侍が多く用いた実質的な仕立てである黒漆太刀や、源義経奉納の社伝がある赤銅造太刀こくしつたち (革包太刀) を展示します。



重要文化財 赤銅造太刀 銘 友成 鎌倉時代



重要美術品 黒漆山金作太刀 無銘 古伯耆
[刀身]平安時代 [拵]南北朝時代